



2027年国際園芸博覧会
公式マスコットキャラクター
トウنگトウング

令和8年4月15日

国土交通省関東地方整備局

相模川水系広域ダム管理事務所

令和8年度 相模川水系広域ダム管理事務所 事業概要

～相模川水の豊かで安全な川の流れを支えます～

令和8年度は、堰堤維持費『約10.7億円（令和8年度当初）』、『約1.8億円（令和7年度補正）』により貯水池機能を保全するための工事等を行います。

また、貯水池（宮ヶ瀬湖）に堆積した土砂を計画的・集中的に除去するためのダムリフレッシュ事業を、堰堤改良費『約2.8億円』により実施します。

宮ヶ瀬ダムは毎年県内外から多くの方が見学に訪れており、河川空間のオープン化の推進など、ダムが地域資源としてより一層活用されるように、関係自治体及び地域の皆様と協力しながら地域の活性化にも取り組んで参ります。

ダムの目的である洪水調節、河川環境の保全、水道用水の供給、発電を確実に実施するために必要となる令和8年度の主な事業は、以下のとおりです。

1. 貯水池機能を保全するための工事
2. ダムリフレッシュ事業
3. ダム関連情報通信設備の更新
4. ダム管理業務（施設管理、流水管理）
5. 地域振興

※事業計画等は、現時点における予定であり、今後変更する場合があります。

※上記事業費の外、工事諸費等があります。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 厚木記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 相模川水系広域ダム管理事務所

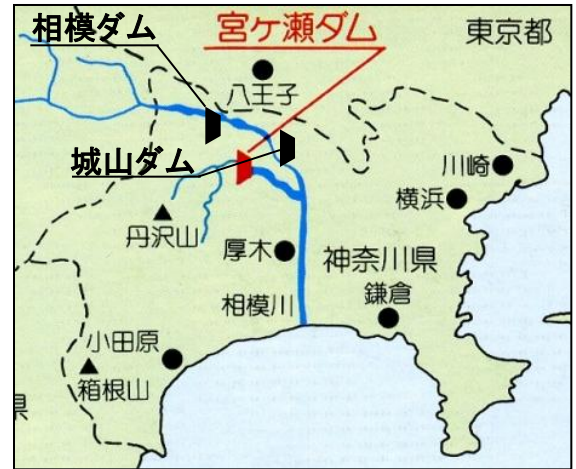
電話：046-281-6911（代表） FAX：046-281-5696

施設管理課長：安孫子（あびこ）（内線：331）

広域水管理課長：尾崎（おさき）（内線：341）

相模川水系広域ダム管理事務所 管理施設位置

相模川水系広域ダム管理事務所では、宮ヶ瀬ダム、石小屋ダム及び道志・津久井導水路の管理を担当し、神奈川県が管理する相模ダム及び城山ダムとの連携の下に、相模川流域の安心・安全を守るための水の総合運用を行っています。



●宮ヶ瀬ダム(本ダム)

堤高 156m
有効貯水容量 1億8,300万 m^3
洪水調節容量 4,500万 m^3 (6/16~10/15)

●石小屋ダム(副ダム)

堤高 34.5m
有効貯水容量 38.6万 m^3
治水容量 なし



1. 貯水池機能を保全するための工事

■貯水池内の流木処理

台風等の出水に伴い流入した倒木等がダム関連施設に支障を与えないように、継続的に処理します。

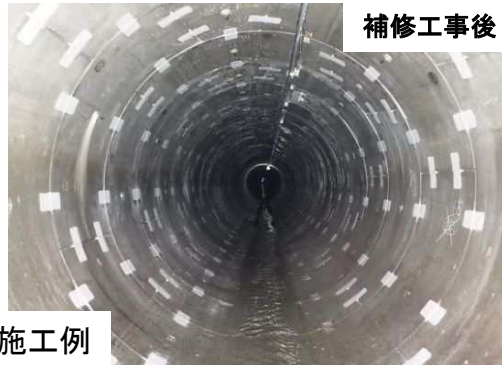
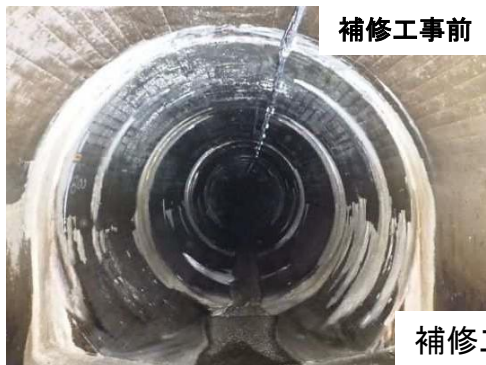
流木は、陸揚げして自然乾燥した後に、一部は細断して水とエネルギー館前に設けた専用スペースで無償配布を行っています。

また、地元自治体と連携し、地域資源としての活用策の検討も行っています。



■道志導水路の修繕工事

道志川から宮ヶ瀬ダムへ導水を行うための道志導水路について、長年の使用により損傷や劣化が生じている区間の補修工事を行います。



補修工事の施工例

■貯水池内に堆積した土砂の掘削搬出工事

宮ヶ瀬ダムは、貯水池に流入する土砂量が多く、有効貯水容量(治水・利水のための容量)に土砂が堆積していることから、継続して土砂を除去する工事を行っています。

令和8年度は、早戸川上流にて工事を行います。

運搬した土砂の一部は、ふるい分けを行い、ダム下流への還元や公共事業の材料として有効活用します。



2. ダムリフレッシュ事業

宮ヶ瀬ダムでは、ダム建設時の計画を上回るスピードで、貯水池への土砂の堆積が進行しています。これまでのペースで土砂の除去を行っていたのでは、大規模な洪水を迎えた時に治水機能を十分発揮できなくなることが懸念されます。

これを解消するため、洪水調節容量内の堆積土砂を計画的・集中的に除去するダムリフレッシュ事業を実施しております。

本年度は、堆積土砂の除去を効率的に実施するために必要な施設整備等の検討に加え、貯水池に堆積した土砂の掘削も実施していきます。



ダム直下流への土砂還元



相模川本川への土砂還元



各主体による土砂融通のイメージ

〔 図出典：国交本省「令和7年度水管理国土・保全局関係予算概要 令和7年1月」より 〕

※ 図は、一般的なイメージであり宮ヶ瀬ダムの事業に該当しないものも含む

3. ダム関連情報通信設備の更新

ダムでは、河川敷利用者への情報提供として情報表示設備を使用しています。装置の中で老朽化しているものについて計画的に更新を行っています。



情報表示板更新(イメージ)

4. ダム管理業務

■施設管理

ダム等を常に正常かつ安全に運用できるようダム堤体、機械設備、電気通信設備の点検整備を行います。また、貯水池及び周辺河川等の水量、水質、自然環境の調査を行います。

■流水管理

《高水管理》台風など大雨が予想される時には、ダム流入量の予測、防災関係機関への通知、ダム下流の巡視を行います。洪水が来たならば、ダムに貯留する操作を行い下流の洪水被害を軽減します。

《低水管理》平常時の中津川及び相模川本川の水利利用や、河川環境の保持に必要な流量を確保するために、年間を通して流況を監視します。

河川の流量が不足するときには、城山ダム、相模ダムとの総合運用に係わる関係機関と調整の上、貯水池から水を補給します。



5. 地域振興

ダムが、地域資源としてより一層活用されるように、関係自治体及び地域の皆様と協力しながら、地域の活性化に取り組みます。

鳥居原エリア



鳥居原ふれあいの館



鳥居原園地駐車場

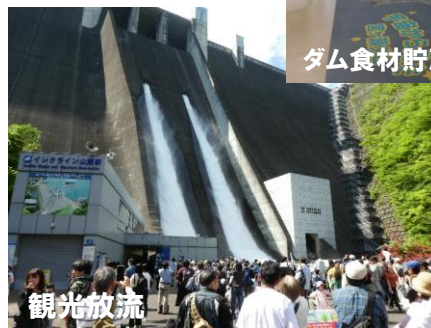
ダムサイトエリア



管理用階段開放イベント
(つつじまつり 他)



ダム食材貯蔵(チーズ、コーヒー豆)



観光放流



宮ヶ瀬湖畔エリア



水の郷商店街



天然モミの木のジャンボツリー